



实用日本语

闵治平 编著

(三)



RIBEN YU

上海交通大学出版社

实用日本语

(三)

闵治平 编著

上海交通大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

实用日语. 第3册/闵治平编著. —上海: 上海交通大学出版社, 2006

ISBN 7-313-04337-6

I. 实... II. 闵... III. 日语—教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 012116 号

实用日语

(三)

闵治平 编著

上海交通大学出版社出版发行

(上海市番禺路 877 号 邮政编码 200030)

电话: 64071208 出版人: 张天蔚

上海交大印务有限公司印刷 全国新华书店经销

开本: 880mm × 1240mm 1/32 印张: 11.625 字数: 332 千字

2006 年 3 月第 1 版 2006 年 3 月第 1 次印刷

印数: 1 ~ 5050

ISBN 7-313-04337-6/H·857 定价(含 MP3): 29.50 元

版权所有 侵权必究

序 言

本书是《实用日本语》的第三册,为中级的上册。中级的下册预定近期出版。编者依据多年的教学实践,在精心构思的情况下,确定了本教材的内容和结构。为了真正意义上与日本的国语教学相接轨,中级的全部课文采用日本中学国语教材的文章。课文都浓缩了大部分的2级词汇和语法,同时为了给1级考试打基础,适量编入1级的词汇和语法。然而,考级毕竟是一种检验的手段。无论是留学、日企就业,还是在日本生活,我们学习的最终目的是为了更好地和日本人沟通。这也是编者以实用为宗旨的编书理念。本书课文出自日本中学国语教材,在与日本国语教学接轨的同时,还可以让学习者了解日本的风土人情和历史背景,增加日本文化知识。本书第18课是用日语写贺卡的范例,让学习者掌握最基本的应用文写作常识。此外,每课以「每课学三句谚语」的形式,以图提升日语的能力。本书对谚语只作了说明部分的翻译,谚语的翻译留给学习者。希望大家开动脑筋,翻译出最贴切、最文从字顺的译文,使之活跃课堂气氛,增强学习日语的兴趣。本书的课文尽可能选择一些有教育意义的文章,希望学习者能够从中得到某些启迪,努力做到遵守社会公德、乐于挑战,成为竞争社会的强者。

本书的特点是每课都有丰富的词汇和语法,以便学习者背诵。语法句型解说部分,对新出现的语法句型和重要词汇,进行了详尽的解说和例句分析,每课还安排配套的仿照例句练习和翻译练习。通过练习,力求有效地理解和掌握各课出现的新语法和新单词。此外,为了方便和日本人进行文化交流,本书还编入了日本书籍中常见的中国古诗文译文,作为课外兴趣读物,给学习者提供更多随学随用的机会。编者的教学方法经过多年的实践检验,取得了切实可行的效果。本书的学习时间安排:课文18课为150小时,平均每课8小时左右。本书列出的词汇约1600个,语法句型约260个。

本书的附录包括课文的译文,各课的配套练习1、练习2的答案,语法句型索引,谚语索引以及词汇索引。

本书使用的略语:

(名)=名词； (代)=代词； (形)=形容词； (形动)=形容动词；
(上一他)=上一段他动词； (下一他)=下一段他动词；
(上一自)=上一段自动词 (下一自)=下一段自动词；
(五他)=五段他动词； (五自)=五段自动词； (副)=副词；
(サ他)=サ变他动词； (サ自)=サ变自动词； (力变)=力变动词；
(专)=专用名词； (组)=词组； (地名)=地名； (姓氏)=姓氏；
(接)=接续词； (连体)=连体词； (复)=复合动词； (组)=词组
(数)=数量词

「①②③④⑤⑥…」=声调符号。

为了方便学习，本书配有录音光盘。光盘内容包括词汇和课文的发音和练习。两者配合使用，相信肯定会取得行之有效的成果。本书以全面提高听、说、读、写能力为宗旨而编写，所以适合各类学习者使用。

由于时间仓促，本书编写中难免有不足之处，谨望多提宝贵意见。

冈治平

2006年2月

目 录

第 1 课	言葉の力	1
第 2 课	地球時代の日本人	16
第 3 课	心豊かに	30
第 4 课	物理の散歩道	43
第 5 课	握手	58
第 6 课	「豊か」再考	72
第 7 课	秋田犬物語	88
第 8 课	強力伝	102
第 9 课	求める心で本を読む	118
第 10 课	そこに僕はいた	131
第 11 课	黒いご飯	145
第 12 课	本当に必要なものは	158
第 13 课	オッペルと象	173
第 14 课	人間関係の営み	188
第 15 课	なぜ数十分しか集中できないか?	203
第 16 课	正しく考えるために	218
第 17 课	薪割り	236
第 18 课	年賀状とクリスマスカード	249
附录 1	课文译文	254
附录 2	练习答案	278
附录 3	语法句型索引	296
附录 4	谚语索引	308
附录 5	词汇索引	310

第1課 言葉の力

おおおか しん
大岡 信

本文

人はよく美しい言葉、正しい言葉について語る。しかし、私たちが用いる言葉のどれをとってみても、単独にそれだけで美しいと決まっている言葉、正しいと決まっている言葉はない。ある人がある時、発した言葉がどんなに美しかったとしても、別の人がそれを聞いた時、同じように美しいとは限らない。それは、言葉というものの本質が、口先だけのもの、言葉だけのものではなくて、それを発している人間全体の世界を否認なしに背負ってしまうところにあるからである。人間全体が、ささやかな言葉の一つ一つに反映してしまうからである。

きょうと さが す せんしよくか しむら しごとば はな
京都の嵯峨に住む染織家 志村ふくみさんの仕事場で話してい

た折、志村さんがなんとも美しい桜色に染まった糸で織った着物を見せた。そのピンクは、淡いようでいて、しかも燃えるような強さを内に秘め、華やかでしかも深く落ち着いている色だった。その美しいさは目と心を吸い込むように感じられた。

「この色は何から取り出したんですか。」「桜からです。」と志村さんは答えた。素人の気安さで、私はすぐに桜の花びらを煮詰めて色を取り出したものだろうと思った。実際はこれは桜の皮から取り出した色なのだった。あの黒っぽいごつごつした桜の皮からこの美しいピンクの色がとれるのだと言う。志村さんは続けてこう教えてくれた。この桜色は、一年中どの季節でも取れるわけではない。桜の花が咲く直前のころ、山の桜の皮をもらってきて染めると、こんな、上気したような、絵もいわれぬ色を取り出せるのだ、と。

私はその話を聞いて、体が一瞬揺らぐような不思議な感じに襲われた。春先、もう間もなく花となって咲き出ようとして

いる桜の木が、花びらだけでなく、木全体で懸命になって最上のピンクの色になろうとしている姿が、私の脳裏に揺らめいたからである。花びらのピンクは、幹のピンクであり、樹皮のピンクであり、樹液のピンクであった。桜は全身で春のピンクに色づいていて、花びらは言わばそれらのピンクが、ほんの尖端だけ姿を出したものにすぎなかった。

考えてみれば、これはまさにその通りで、木全体の一刻も休むことのない活動の精髓が、春という時節に桜の花びらという一つの現象になるにすぎないのだった。しかし我々の限られた視野の中では、桜の花びらに現れ出たピンクしか見えない。たまたま志村さんのような人がそれが樹木全身の色として見せてくれると、はっと驚く。

このように見てくれば、これは言葉の世界での出来事と同じことではないかという気がする。言葉の一語一語は、桜の花びら一枚一枚だといっていい。一見したところ、全然別の色をしているが、

しかし本当は全身でその花びらの色を生み出している大きな幹、それを、その一語一語の花びらが背後におきながら、言葉というものを考える必要があるのではなかろうか。

そういう態度をもって言葉の中で生きていこうとする時、一語一語のささやかな言葉の、ささやかさそのものの大きな意味が実感されてくるのではなかろうか。美しい言葉、正しい言葉というものも、その時初めて私たちの身近なものになるだろう。

単語

言葉（ことば）③	（名）语言，词，话
語る（かたる）◎	（五他）说，谈
しかし②	（接）可是，但是
用いる（もちいる）◎	（上一他）用，使用
単独（たんどく）◎	（名）单独，独自
決まる（きまる）◎	（五自）规定，决定
発する（はつする）◎	（サ自）发表，出发
別（べつ）◎	（名・形动）别的，区别
本質（ほんしつ）◎	（名）本质，实质
口先（くちさき）◎	（名）口头，嘴上
語彙（ごい）①	（名）词汇
全体（ぜんたい）◎	（名）整体，全体
背負う（せおう）②	（五他）背，担负

ささやか②

反映 (はんえい) ㊟

嵯峨 (さが) ①

桜色 (さくらいろ) ㊟

染まる (そまる) ㊟

糸 (いと) ①

織る (おる) ①

着物 (きもの) ㊟

見せる (みせる) ②

ピンク①

淡い (あわい) ②

しかも②

燃える (もえる) ㊟

秘める (ひめる) ②

華やか (はなやか) ②

落ち着く (おちつく) ②

吸い込む (すいこむ) ③

感じる (かんじる) ㊟

取り出す (とりだす) ㊟

素人 (しろうと) ①

気安い (きやすい) ㊟

花びら (はなびら) ④

煮詰める (につめる) ③

実際 (じっさい) ㊟

皮 (かわ) ②

ごつごつ①

直前 (ちよくぜん) ㊟

上気 (じょうき) ㊟

一瞬 (いっしゅん) ㊟

揺らぐ (ゆらぐ) ③

(形动) 微小, 简单

(名・サ自他) 反映, 反射

(地名) 嵯峨

(名) 樱花色, 淡粉红

(五自) 染上, 沾染

(名) 线

(五他) 织, 编织

(名) (日本) 和服

(下一他) 让看

(名) 粉红

(形) 淡的, 浅的

(接) 而且

(下一自) 燃烧

(下一他) 蕴藏, 隐藏

(形动) 华丽, 盛大

(五自) 安顿, 平静, 沉着

(五他) 吸进

(サ自他) 感觉

(五他) 取出, 拿出

(名) 外行, 业余

(形) 无拘无束

(名) 花瓣

(下一他) 煮熬, 煎熬

(名) 实际

(名) 皮, 表皮

(副・サ自) 凹凸不平, 生硬

(名) 就要…之前

(名・サ自) 兴奋, 血往上涌

(名) 一刹那

(五自) 摇晃, 摇摇欲坠, 动摇

不思議 (ふしぎ) ㊟	(名・形动) 不可思议, 奇怪
襲う (おそう) ㊟	(五他) 袭击
まもなく ㉔	(副) 不久
咲き出でる (さきいでる) ㉔	(下一自) (文语形)(花)开出来
懸命 (けんめい) ㊟	(形动) 奋力, 竭尽全力
最上 (さいじょう) ㊟	(名) 最高, 最好
脳裏 (のうり) ①	(名) 脑海里
揺らめく (ゆらめく) ㉓	(五自) 摆动
幹 (みき) ①	(名) 树干
樹皮 (じゅひ) ①	(名) 树皮
樹液 (じゅえき) ①	(名) 树液
色づく (いろづく) ㉓	(五自) 着色
いわば ㉔	(副) 可以说
尖端 (せんたん) ㊟	(名) 尖端, 最前面
まさに ①	(副) 真的, 恰好
一刻 (いっこく) ㉔	(名) 片刻, 短时间
精髓 (せいずい) ㊟	(名) 精华, 精髓
時節 (じせつ) ㉔	(名) 季节, 时节
現象 (げんしょう) ㊟	(名) 现象
我々 (われわれ) ㊟	(代) 我们
視野 (しや) ①	(名) 视野, 眼界
現れる (あらわれる) ㉔	(下一自) 出现, 表现
たまたま ㊟	(副) 偶尔, 碰巧
全身 (ぜんしん) ㊟	(名) 全身, 浑身
はっと ㊟	(副・サ自) (因意外事) 吃惊
驚く (おどろく) ㉓	(五自) 吃惊, 出乎意料
出来事 (できごと) ㉔	(名) 事件, 变故
一語 (いちご) ㉔	(名) 一个词语, 一句话
一見 (いっけん) ㊟	(名・サ他) 一看, 一见
全然 (ぜんぜん) ㊟	(副) 完全

生み出す (うみだす) ③	(五他) 创造, 生出
背後 (はいご) ①	(名) 背后
念頭 (ねんとう) ⑩	(名) 心上
態度 (たいど) ①	(名) 态度, 举止
実感 (じっかん) ⑩	(名・サ他) 实际感受
身近 (みぢか) ③	(名・形动) 身边, 切身

语法句型解说

1. 「～とする」相当于汉语的「假设～」

接法：「动词、形容词简体＋とする」「名词、形容动词＋だとする」

用法：表示假设前项条件

- 1) 雨が^{あめ}降^ふるとしたら、運^{うんどうかい}動^{ちゆうし}会^{かい}を中止します。

(假设下雨的话, 运动会就中止。)

- 2) この方法^{ほうほう}が^いいとすれば、問^{もんだい}題^{だい}を^{かいけつ}解^{かい}決^{けつ}することが出来ます。

(假设这方法好的话, 就能解决问题。)

- 3) この魚^{さかな}が^{しんせん}新^{しん}鮮^{せん}だったと^したら、王^{おう}さん^が病^{びようき}氣^きにな^なら^らないで
し^しょう。

(假设这鱼新鲜的话, 小王不会生病吧。)

- 4) こ^こは公^{こうえん}園^{えん}だと^しれば、映^{えい}画^が館^{かん}が^むそ^その向^むこ^こうです。

(假设这里是公园, 那么电影院就在那对面。)

2. 「～とは限らない」相当于汉语的「不一定」「未必」

接法：「用言简体＋とは限^{かぎ}らない」

用法：常和（副词）「^{かならず}必^ずしも」呼应使用。表示因有例外，不一定百分之百正确。

- 1) 酒が好きな人は、酒に強いとは限りません。

（喜欢喝酒的人未必酒量好。）

- 2) 簡単に見えますが、^{かならず}必^ずしもすぐできるとは限らない。

（虽然看似简单，但不一定马上能学会。）

3. 「～いやおうなしに」相当于汉语的「毫无商量、不得不」

接法：「いやおう＋なしに」

用法：表示不受主观意志所控制。

- 1) 法律は否応なしに^{じゅんしゆ}遵守しなければならぬ。

（法律是毫无商量地必须遵守的。）

- 2) 相手の条件を否応なしにのんだ。

（不得不接受对方的条件。）

4. 「～^{おり}折」相当于汉语的「～时候」

接法：按照名词的接法。

用法：书面用语。

- 1) その折には大変お世話になりました。

（那段时间里，得到了你的很多照顾。）

- 2) 寒さが^{きび}厳しい折、くれぐれもお^{からだ}体をお大切に。

（在严寒之际，衷心地希望你保重身体。）

5. 「なんとも」相当于汉语的（1）「没什么」（2）「什么也～」「怎么也～」

接法：「なんとも～ない」

用法：1) 下接否定表示并无大碍。

2) 不能明确确定。

1) 転んだが、なんともなかった。

(虽然摔了跤，但没什么。)

2) 私からは なんとも言えない。

(就我而言，不能说什么。)

6. 「～っぽい」相当于汉语的「像～那样的感觉」「看上去像～那样」

接法：「形容词词干、名词+っぽい」

用法：表示某种倾向很突出。

1) あの人は黒っぽい服を着ていた。

(那人穿着看上去像黑色那样的服装。)

2) 彼女は 大人っぽく見えますが、実際はまだ16歳です。

(她看上去像大人那样，但实际还只有16岁。)

7. 「～わけではない」相当于汉语的「并不是～」

接法：「用言连体形+わけではない」

用法：表示并非如此。

1) よく一緒にいるが、彼女と付き合っているわけではない。

(虽然经常在一起，但并不是在和她交往。)

2) 甘い物が嫌いなわけではないが、ダイエットしているんだ。

(并不是讨厌甜食，而是正在减肥。)

3) 何も買わなかったが、お金がないわけではない。

(虽然什么也没有买，但并不是没有钱。)

8. 「～ぬ」相当于汉语的「不～」

接法：和「ない」接法基本相同，但「サ动词」是「～せず」
「～せぬ」。

用法：表示否定。

「ない」和「ぬ」活用表

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
ない	な か ろ (う) な か っ (た)	なく な か っ (た)	ない	ない	な け れ (ば)	——
ぬ	—	ず	ぬ	ぬ	ね (ば)	——

注意：「ぬ」属于特殊活用形，可以直接后续名词。

1) たまには朝^{ちやうしょく}食^{しょく}をせずに出かける。

(偶尔也有不吃早饭出门。)

2) 好き^{すき}ではないから、安^{やす}くても買^かわぬ。

(因为不喜欢，所以即使便宜也不买。)

3) わからぬ^{こと}事^{こと}を聞^きいてもいいですよ。

(不明白的事项可以问啊。)

4) 早^{はや}く行^いかねば、間^まに合^あわないよ。

(如果不快点去，就会来不及。)

9. 「～(よ)うとする」相当于汉语的「想要～」

接法：「动词未然形＋(よ)うとする」

「动词未然形＋(よ)うとしたとき」相当于汉语的「正想要～的时候」

用法：用于表示第3人称的意志的情况较多，但也可用于第1人称。

1) 彼女は 自分の家を持とうとしている。

(她想拥有自己的房子。)

2) 早く起きようとして早く寝た。

(想早点起床，所以早睡了。)

3) 出かけようとした時、友達が来た。

(正想要出门时，朋友来了。)

10. 「～の／んだ」相当于汉语的「～(嘛)」

接法：「用言连体形＋の／んだ」

用法：表示说明或强调必然结果。「～んだ」用于口语。

1) 渋滞だから、遅刻したのだ。

(因为堵车，所以迟到了(嘛)。)

2) ビジネスのチャンスが多いから、皆 中国に来たのだ。

(因为生意机遇多，所以都到中国来了(嘛)。)

3) 肉が嫌いなんだから、食べたくない。

(因为不喜欢吃肉，所以不想吃(嘛)。)

11. 「～にすぎない」相当于汉语的「只不过是～」

接法：「动词简体＋にすぎない」「形容动词词干、名词＋にすぎない」

用法：表示仅此而已。

1) 彼は冗談として言ったにすぎない。

(他不过是作为开玩笑而说的。)

2) 彼女は簡単な会話が話せるにすぎない。